

(仮称)大分市 DX 推進計画およびアクションプラン 素案 概要

1. 目的と計画期間

①目的

大分市では、市域の各種情報化施策をまとめた「大分市情報化推進計画」を定め、様々な取組を実施していたところですが、今年度をもって当該計画が期間満了となることから、新たに「(仮称)大分市DX推進計画」および「(仮称)大分市DX推進計画アクションプラン」を定め、大分市のデジタル化の推進を行ってまいります。

②計画期間

- ・(仮称)大分市DX推進計画
2025(令和7)年度から2030(令和12)年度までの6年間
- ・(仮称)大分市DX推進計画アクションプラン
2025(令和7)年度から2026(令和8)年度までの2年間(以後2年毎に策定)

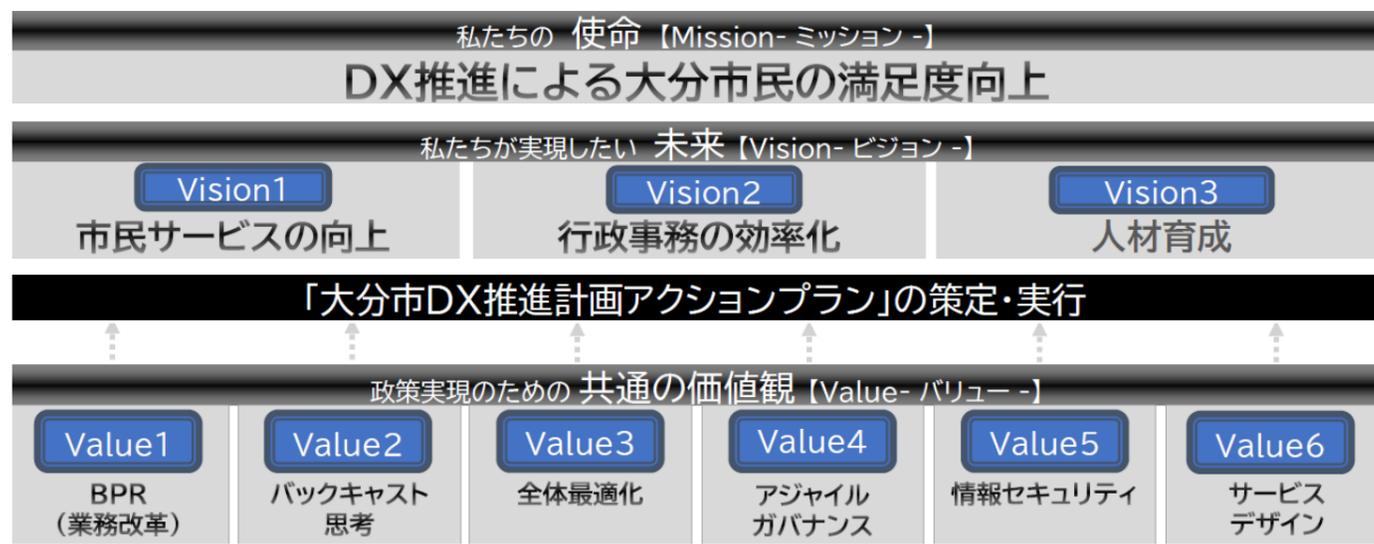
③計画の位置づけ

- ◆「大分市総合計画」の【第3部 第1章 DXの推進】に基づく、本市のDX推進を目的とした「個別計画」
- ◆ 官民データ活用推進基本法(平成28年12月)第9条第3項に規定される「市町村官民データ活用推進計画」



2. 計画の構成

大分市のデジタル化の推進において、「DXによる大分市民の満足度向上」を使命として掲げ、「市民サービスの向上・行政事務の効率化・人材育成」の3つの実現したい未来に向けて、**6つの共通の価値観**を重要視した各種のデジタル化施策をアクションプランにまとめ、取り組んでまいります。



3. 大分市のDXのポイント

①DXの考え方

「DX」とは、情報をより便利かつ効率的に扱うための技術や考え方として使用される「デジタル」と、「変化」や「変革」を意味する「トランスフォーメーション」を掛け合わせた言葉です。大分市では、この「DX」について、【**できること(D)から見直す・変革する(X)**】として再定義し、職員が目の前の**できることから変革(業務改革)**を行っていくことで、望む未来を実現させることを目指します。

②アクションプランの実施内容について

「(仮称)大分市DX推進計画」に定める3つの実現したい未来「**市民サービスの向上・行政事務の効率化・人材育成**」について、以下の観点から、個別の施策をまとめたアクションプランを策定・実行します。

未来1：市民サービスの向上		
行政手続のDX	事業者の支援	情報セキュリティ対策
未来2：行政事務の効率化		
システム・ネットワーク環境の最適化とデータ利活用	インフラ関連業務のDX	子育て環境・教育環境のDX
未来3：人材育成		
職員の人材育成		市域のデジタル人材育成

4. アクションプランの各種施策について

大分市のデジタル化の推進を行うため、以下の施策を策定するとともに、社会情勢の変化に対応するべく、機動的かつ柔軟な計画運用を行います。

アクションプラン 個別施策(抜粋)	
フロントヤード改革の推進	上下水道業務に関するDX推進
公金収納のDX	橋梁点検の事務改善と点検品質の安定化
公式アプリの機能拡充	妊産婦のためのDX推進
マイナンバーカードの利活用の促進	子育て支援サイトの充実
小規模事業者のICT導入支援	庁内デジタル人材育成の実施
ICT関連企業の立地の促進	教員のICT活用指導力の向上
スマート農林水産業の推進	デジタル活用支援の実施
地域医療情報ネットワークの運用支援	情報モラル講習の実施
救急業務のDX	ICTボランティアの育成支援
情報システムの標準化・共通化	中小企業向けデジタル人材育成講座の実施
議会のICT利用についての調査・研究	中小企業におけるIT人材育成の支援
テレワークの推進	情報セキュリティ体制の充実
各種申請事務や台帳管理に関するペーパーレス化の推進	教職員の情報セキュリティに関する研修の充実
データ利活用の推進	先進技術の調査・研究

など